

No. _____

令和 5年 4月12日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】


実施要項					
演題・講義内容	KOA 3 GSS 導入				
講演者・指導者氏名(所属)	Prosak (国際部)				
実施日時	令和 5年 4月 12日 10時35分 ~ 12時5分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	KOA 3	受講対象	3年国際コース	受講人数	14 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼	あり・なし
責任教員	村上	担当教員	Prosak 黒宮 村上 茨木		
役割分担	講義				
目的	Global Simulation Gaming の導入				
講演・講義の概要	1限目はGSSとは何かを伝える。昨年度の活動を動画で見てイメージをつかむ。今年のテーマについて説明する。担当教諭の紹介。2限目は1991年のウクライナに核兵器が残された問題についての英文を読みまとめる作業を行った				
備考・その他					
実施報告					
内容	上記の内容。				
受講者の反応	課題が過去の政治的な問題であり、難しいように感じていた。				
事後指導	Google Classroom に課題を提出させる。				
反省・課題					
記録欄					
	報告者	村上			

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____


令和 5年 4月 19日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	GSG に向けてウクライナの歴史を学ぶ		
講演者・指導者氏名(所属)	Henry Prosack (国際部)		
実施日時	令和 5年 4月 19日 10時 55～12時45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分 来校方法
授業名	KOA 3	受講対象	3年国際コース 受講人数 14 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター 謝礼 あり(なし)
責任教員	茨木	担当教員	Prosack, 茨木、村上、黒宮
役割分担			
目的			
講演・講義の概要			
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>以下の質問についてリサーチして答える。</p> <p>1. Why did the Soviet Union collapse?</p> <p>2. What is the difference between Belarus and Ukraine's attitude/relationship towards Russia in 1993?</p> <p>3. What is Finland's history in relation to the Soviet Union/Russia? What are some reasons why it joined NATO? What are some possible consequences for joining NATO?</p>		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄			
	報告者	村上	

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容	KOA 3 GSGにむけて				
講演者・指導者氏名(所属)	Henry Prosack (国際部)				
実施日時	4月26日 10時55分から12時45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	KOA 3	受講対象	高校3年国際コース	受講人数	13 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼	あり・なし
責任教員	茨木	担当教員	茨木 村上 Prosack 黒宮		
役割分担					
目的	ロシア ウクライナ戦争の元凶となったソビエト連邦の崩壊を知る				
講演・講義の概要	前回のグループ課題を発表して、意見を共有する				
備考・その他					
実施報告					
内容	以下の前回の課題について各チームより発表した。 1.Why did the Soviet Union collapse? 2.What is the difference between Belarus and Ukraine's attitude/relationship towards Russia in 1993? 3.What is Finland's history in relation to the Soviet Union/Russia? What are some reasons why it joined NATO? What are some possible consequences for joining NATO?				
受講者の反応					
事後指導					
反省・課題					
記録欄					
	報告者	村上			


- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	Introduction to Global Energy			
講演者・指導者氏名(所属)	Henry Prosack (国際部)			
実施日時	令和5年5月10日10時55分～12時45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	KOA学Ⅲ	受講対象	高校3年国際コース(7ヶ月留学生)	受講人数 4人
実施場所	3年1組HR教室	使用備品	プロジェクター、スクリーン	
責任教員	茨木 美帆	担当教員	Henry Prosack、茨木 美帆	
役割分担	講義者:Prosack、生徒サポート:茨木			
目的	今年度のGSGでエネルギー問題を扱うに当たり、世界のエネルギーを取り巻く環境について導入を行う			
講演・講義の概要	世界のエネルギーの現状とそれを取り巻く環境			
備考・その他	7ヶ月留学生16名の授業であるが、内10名がベトナムフィールドトリップに参加中のため、4名による授業である。			
実施報告				
内容	(第1部) エネルギーをテーマとするブレインストーミングと質疑応答によるウォーミングアップ。 来週以降のリサーチの基礎となる世界のエネルギーの現状とそれを取り巻く環境についてのリサーチ。 (第2部) リサーチ結果の共有と本日の成果をまとめたプレゼンテーションの準備			
受講者の反応	少人数の授業であったため、普段自発的に発言することの少ない生徒も含め全員が発言し、主体的にリサーチに取り組んだ。			
事後指導	本日の学びの成果を来週の授業で本日の欠席者に共有する。			
反省・課題	リサーチの結果がそれぞれどのような事象と結びついているのかを考えることを促し、単なる調べ学習に			
記録欄	(第1部) 10:55～11:05 ウォーミングアップ 11:05～11:45 リサーチ Energy is essential to our daily lives. Please research about and answer the following questions. 1. What is energy and why is it important? 2. Think about your daily routine. When do you use energy and for what purpose? 3. What types of energy resources are there in the world? 4. How is energy related to climate change? 5. Why do countries rely on fossil fuels for their energy needs? 6. Recently, Finland launched its new nuclear power plant, Olkiluoto 3. Why is Finland pursuing nuclear energy? Similarly, Japan's Prime Minister Fumio Kishida has called for an increase in nuclear power production. Why is Japan considering this energy policy shift? 11:45～11:55 休憩 (第2部) 11:55～12:10 リサーチの続き 12:10～12:30 リサーチ結果の共有と質疑応答による内容の掘り下げ 12:30～12:45 次回の発表の準備			
報告者	茨木 美帆			

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】


実施要項			
演題・講義内容	ミニミニGSS		
講演者・指導者氏名(所属)	ヘンリー プロサック (国際部)		
実施日時	令和 5年 5月17日 10時 55分 ~ 12時45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分 来校方法
授業名	KOA 3	受講対象	高校3年国際コース
実施場所	中教室	使用備品	謝礼 あり <small>なし</small>
責任教員	村上和弘	担当教員	ヘンリープロサック
役割分担			
目的	GSS実施に向けて、エネルギーについてウクライナについてロシアについてリサーチを進める		
講演・講義の概要			
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>まず、先週の課題であった「エネルギーとは何か」というプレゼンを行っていただいた。先週ベトナムフィールドトリップで授業に出ていなかった生徒はプレゼンを聞いた。</p> <p>その後、1993年のウクライナ、ロシア、アメリカ、現在のウクライナ、ロシア、アメリカにグループ分けを行い、ミニミニGSSに備えてグループでリサーチをした。</p> <p>さらにグループごとに意見をぶつけあい、戦争をしている現状を打開するためにどのようなアクションができるかを議論した。</p>		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄			
	報告者	村上	

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 5年 5月31日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】


実施要項					
演題・講義内容	GSGに向けて1993年時点のウクライナの状況について				
講演者・指導者氏名(所属)	茨木美帆 (国際部)				
実施日時	令和 5年 5月31日 10時 55分 ~ 12時45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	KOAⅢ	受講対象	高校3年国際コース	受講人数	13 人
実施場所	中教室	使用備品		謝礼	あり・なし
責任教員	茨木美帆	担当教員	村上 黒宮		
役割分担					
目的	ミニミニGSGに向けてウクライナ及びロシアを取り巻く社会状況を把握する				
講演・講義の概要	チームでリサーチをした後、対チームの交渉を行う				
備考・その他					
実施報告					
内容	3限は1993年当時のウクライナ、ロシア、アメリカを取り巻く社会状況をリサーチした。 4限はアメリカ、ロシア、ウクライナのチームが相互に交渉を行い、最終的にどのような結論に達したかについてレポートを書いた。				
受講者の反応					
事後指導					
反省・課題					
記録欄					
	報告者	村上			

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 5年 6月 7日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】


実施要項					
演題・講義内容	Mini mini GSG 延長				
講演者・指導者氏名(所属)	黒宮康明 (京都先端科学大学附属高校)				
実施日時	令和 5年 6月 7日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	KOA 3	受講対象	高校3年国際コース	受講人数	13 人
実施場所	中教室	使用備品		謝礼	あり・なし
責任教員	茨木美帆	担当教員	黒宮康明 村上和弘		
役割分担					
目的					
講演・講義の概要	先週のMini mini GSGに引き続き、各国の背景をよく吟味した上でもう一度交渉を行う				
備考・その他					
実施報告					
内容	GSGにおいて大事なものは史実として書く国の状況、立場、背景を明確にした上で交渉を行うことであるので、もう一度その点を精査し、先週に引き続き交渉を実施する。				
受講者の反応					
事後指導					
反省・課題					
記録欄					
	報告者	村上和弘			

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 5年 6月 21日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	GSS実施に向けて エネルギーに関する概論		
講演者・指導者氏名(所属)	Henry Prosack (国際部)		
実施日時	令和 5年 6月21日 10時55分 ~ 12時45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分 来校方法
授業名	KOA3	受講対象	高校3年1組国際コース
実施場所	中教室	使用備品	受講人数 10 人
責任教員	村上	担当教員	Prosack 茨木
役割分担			
目的			
講演・講義の概要	GSGIに向けて、1限目は石油について理解を深めた。2限目はその他のエネルギーについて学んだ。		
備考・その他			
実施報告			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1限目:石油についての理解を深めた。産油国、OPEC、石油危機、石油関連産業など ・2限目はその他の化石燃料について学んだ。特に液化天然ガスについてリサーチした。 		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題	液化天然ガスについての課題を提出		
記録欄			
	報告者	村上和弘	

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
 * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】


実施要項			
演題・講義内容	Introduction to Global Energy: Natural Gas, Coal and Nuclear Power		
講演者・指導者氏名(所属)	Henry Prosack (国際部)		
実施日時	令和 5 年 6 月 28 日 10 時 55 分 ~ 12 時 45 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分 来校方法
授業名	KOA学Ⅲ	受講対象	高校3年国際コース(7ヶ月留学生) 受講人数 4 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター、スクリーン 謝礼 あり(なし)
責任教員	茨木 美帆	担当教員	Henry Prosack、茨木 美帆
役割分担	講義者:Prosack、生徒サポート:茨木		
目的	今年度のGSGでエネルギー問題を扱うに当たり、世界のエネルギーを取り巻く環境について導入を行う		
講演・講義の概要	前回の石油に続き、今回は天然ガス、石炭、原子力に焦点を当てて基本情報の確認を行う		
備考・その他	7ヶ月留学生16名の授業である		
実施報告			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・天然ガスに関するリサーチ課題(以下に掲載)の成果をクラスで共有、内容の確認 ・新たに、石炭、原子力についてもリサーチとその結果の共有と内容の確認 		
受講者の反応	リサーチの成果を積極的に共有した		
事後指導	Renewable Power Assignment に取り組み、次回の授業でリサーチ結果を共有する		
反省・課題	リサーチの結果がそれぞれどのような事象と結びついているのか、GSGに向けて情報を分析し、最適な形で体系化していくことの必要性をイメージさせる必要がある		
記録欄	<p>10:55~11:15 前回の授業で課題として出された天然ガスについてのリサーチ結果をクラスに共有、確認</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. What is natural gas? Where does it come from? What forms/types of natural gas are there? (What is LNG?) 2. What countries are the biggest producers of natural gas? What are the largest exporters? 3. What countries are the biggest consumers of natural gas? What are the largest importers? 4. What are the main uses for natural gas? 5. What are the benefits and drawbacks of natural gas? Please compare natural gas to the other two fossil fuels oil and coal. 6. What is a historical event (or region in the world) where natural gas played an important role? <p>11:15~11:35 石炭についてのリサーチ課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. What is coal? 2. How has coal had an impact on humanity historically? 3. What countries are the biggest producers of coal? What are the largest exporters? 4. What countries are the biggest consumers of coal? What are the largest importers? 5. What are the main uses for coal? 6. What are the benefits and drawbacks of coal? (Please compare coal to the other two fossil fuels, oil and natural gas. What are the positives and negatives of using coal?) <p>11:35~11:45 石炭についてのリサーチ結果の共有、確認</p> <p>11:55~12:05 資料「Introduction to Coal」を用い、石炭についてさらに情報の確認をする</p> <p>12:05~12:20 原子力についてのリサーチ課題</p> <p>12:20~12:30 原子力についてのリサーチ結果の共有、確認</p>		
報告者	茨木 美帆		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
 * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】


演題・講義内容		GSG 役割分担	
講演者・指導者氏名(所属)	Henry Prosack (京都先端科学大学附属高校)		
実施日時	令和 5年 7月 19日 10時 55分 ~ 12時45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分 来校方法
授業名	KOA 3	受講対象	高校3年国際コース
実施場所	中教室	使用備品	謝礼 あり・なし
責任教員	茨木	担当教員	Prosack 村上
役割分担			
目的	GSGのアクターを決定する		
講演・講義の概要	講義の前半でこれまでの経過を復習し、後半アクター別に分かれてそれぞれの役割分担を決めた		
備考・その他			
実施報告			
内容	3限は10カ月生を迎えるにあたって、GSGのこれまでの取り組みについて概要を講義した。その後、それぞれのチームで係分担を決めた。例えばステイとアクターであれば総理大臣、環境大臣、エネルギー大臣などだ。 4限は先週希望調査をしたアクターの希望にしたがって決定したそれぞれのアクターのメンバーを発表した。		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄			

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____


令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容	GSG Climate change とEnergy				
講演者・指導者氏名(所属)	村上 和弘 (国際部)				
実施日時	令和 5年 8月 30日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	KOA 3	受講対象	高校3年国際コース	受講人数	30 人
実施場所	中教室	使用備品		謝礼	あり・なし
責任教員	茨木 村上	担当教員			
役割分担					
目的	GSSの準備として各アクターのエネルギー問題と気候変動の関わりについてリサーチする				
講演・講義の概要	気候変動の一般論並びに、そのエネルギー問題への影響。さらにパリ議定書についての関わり。				
備考・その他					
実施報告					
内容	まず、気候変動とエネルギー問題の関わりについて、生徒に考えさせた。その後、リサーチの時間を与えた。 課題は1. Climate change 2. How is your actor been affected by climate change? 3. What are your main worries about climate change and energy? 4. What is the Paris Agreement?				
受講者の反応					
事後指導					
反省・課題					
記録欄					
	報告者	村上			


- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	GSS 実施にむけてエネルギーと気候変動についてリサーチする		
講演者・指導者氏名(所属)	Herny Prosack (国際部)		
実施日時	令和 5年 9月 6日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分 来校方法
授業名	KOA 3	受講対象	高校3年1組
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	村上	担当教員	Prosack 村上
役割分担			
目的	各アクターが気候変動とエネルギー問題について理解し、情報を共有する		
講演・講義の概要	先週の授業による情報の共有を行い、その後アクターでグループディスカッションをする		
備考・その他			
実施報告			
内容	まず、先週のリサーチの確認を行い、その後2または3アクター同士で情報交換のためのミーティングを行った。その内容を各チームがクラス全体に発表した。 次に各アクターへのリサーチ課題として、各アクターのエネルギーについての現状分析を与えた。 (提出課題)		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄			
	報告者	村上	


- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	GSS実施に向けて代替エネルギーを考える		
講演者・指導者氏名(所属)	Henry Prosack (国際部)		
実施日時	令和 5年 9月 13日 10時 25分 ~ 12時 5分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分 来校方法
授業名	KOA3	受講対象	3年1組 受講人数 32人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター 謝礼 あり・なし
責任教員	村上		
役割分担			
目的	各アクターの代替エネルギーを確認する。またcop27に対する各アクターの対応を調べる		
講演・講義の概要	前半は全エネルギーに占める、石油、風力などのエネルギーソースの割合を確かめ、後半は各アクターのエネルギーの依存度について調査した。		
備考・その他			
実施報告			
内容	先週の課題を確認。一覧表に各アクターのエネルギーソースの割合を記入し、その情報を共有した。またcop27に対する各アクターの態度を確認した。その後はグローバルサウス、グローバルノースとは何か、また目標を実現させるための財源についてリサーチさせた。		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄			
	報告者	村上	


- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	GSG Actor Presentation の作成		
講演者・指導者氏名(所属)	Henry Prosack (国際部)		
実施日時	令和 5年 10月 4日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分 来校方法
授業名	KOA 3	受講対象	高校3年国際コース 受講人数 33 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター 謝礼 あり・なし
責任教員	村上和弘	担当教員	Prosack, Denes, 茨木、廣藤
役割分担			
目的	それぞれのアクターの基本情報と現状を整理してまとめる。		
講演・講義の概要	Actor Presentationのフォームをそれぞれのチームに配布して、完成させる。		
備考・その他			
実施報告			
内容	まず、前回のキックオフミーティングの講評をした。その後、それぞれの生徒にGSG用のメールアドレスを配布して、今後はそれでログインするように指示をした。その後、グーグルクラス上に Actor Presentation のフォームを提示し、残りの時間で各アクターが自分たちの基本情報や現状を記入した。		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄			
	報告者	村上	

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】


実施要項			
演題・講義内容	GSG アクタープレゼンテーションの作成		
講演者・指導者氏名(所属)	Henry Prosack (国際部)		
実施日時	令和 5年 10月 11日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA 3	受講対象	3年国際コース
受講人数	32 人		
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
謝礼	あり・なし		
責任教員	村上	担当教員	Prosack, 茨木、廣藤、Denes
役割分担			
目的	それぞれのアクターがActor Presentation Handoutを作成する		
講演・講義の概要	Google Classroom にてActor Presentation Handout のサンプルを示し、それぞれのアクターで分担任して作成する。		
備考・その他			
実施報告			
内容	まずそれぞれのアクターの担当指導教員を割り当てた。その後、昨年度のhandoutを参考に、各アクター内で役割を分担し、担当者はリサーチを進め、ハンドアウトを完成していった。またメディアはキックアウトを終えての各アクターの感想を動画撮影していた。		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄			
報告者	村上		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	Global simulation gaming actor presentation			
講演者・指導者氏名(所属)	Prosack (国際部)			
実施日時	令和 5年 11月 15日 10時 50分 ~ 12時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	KOA 3	受講対象	高校3年国際コース	受講人数
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼
責任教員	Prosack	担当教員	茨木 村上 廣藤 Denes	あり・なし
役割分担				
目的	アクター毎に作成したスライドを用いてアクターの紹介プレゼンテーションをする			
講演・講義の概要				
備考・その他				
実施報告				
内容	各アクターがプレゼンを行った。 1. ブラジル 2. インド 3. インドネシア 4. イタリア 5. ケニア 6. サウジアラビア 7. ウクライナ 8. 英国 9. UNFCC 10. Total Energies			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄				
	報告者	村上		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容			
講演者・指導者氏名(所属)	廣藤 ()		
実施日時	令和 5年 12月 6日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA 3	受講対象	高校3年国際コース
受講人数	32 人		
実施場所	視聴覚・中教室	使用備品	プロジェクター
謝礼	あり・なし		
責任教員	Prosack	担当教員	茨木 村上 Prosack Denese 廣藤
役割分担			
目的	気候難民・森林破壊に関する知識を深める。 MiniGSGの準備。		
講演・講義の概要	3限は気候難民、森林破壊に関する学習、4限はMiniGSGに向けての準備		
備考・その他			
実施報告			
内容	3限は視聴覚教室にて、NHK クローズアップ現代「急増 気候難民」「森林大消失」を見て、各アクターが自分たちが解決すべき問題を考える。 4限は16日土曜日のMini GSGに向けて準備を進めた。		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄			
報告者	村上		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を